

該当のない項目については「該当なし」と記入すること。

個人調書等の記入例・記入上の注意

※手書きで記入される場合は、楷書で分かりやすくご記入願います。

教員個人調書

履 歴 書				
フリガナ	〇〇〇〇〇〇〇〇	性別	〇	生年月日(年齢)
氏名	〇〇〇〇			年 月 日生 (満〇〇歳)
国籍	〇 〇 〇	現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇〇 〇〇〇号室	
学 歴				
年 月	事 項			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇専門学校 〇〇〇〇科 卒業			
昭和〇〇年〇〇月	作業療法士免許取得(第〇〇〇〇号)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部〇〇科 入学			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部〇〇科 卒業			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 修士課程 〇〇専攻 入学			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 修士課程 〇〇専攻 修了 修士()「〇〇〇の〇〇〇に関する研究」			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 博士課程 〇〇専攻 入学			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 博士課程 〇〇専攻 単位取得満期退学			
職 歴				
年 月	事 項			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇法人 〇〇〇病院 作業療法士(平成〇〇年〇〇月まで)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇法人 〇〇クリニック 作業療法士(平成〇〇年〇〇月まで)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇法人 〇〇クリニック 作業療法士(平成〇〇年〇〇月まで)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 専任講師(〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇担当)(現在に至る)			
(前審査)	大学設置・学校法人審議会 教員組織審査判定結果			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科 専任講師(〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇〇担当)			
学会及び社会における活動等				
現在所属している学会	〇〇〇〇学会 〇〇〇〇学会			
年 月	事 項			
平成〇〇年〇〇月	〇〇〇〇学会 会員 (現在に至る)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇〇〇学会 会員 (昭和〇〇年〇〇月まで)			
賞 罰				
年 月	事 項			
	なし			
職 務 の 状 況				
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	担当授業科目の名称	備 考
〇 〇 大 学	〇 〇	〇〇〇学部	〇〇〇 I	前期
			〇〇〇 II	後期
			〇〇〇 B	
(医療従事者等の場合)			(職務内容を簡潔に記入)	
〇 〇 法 人	作業療法			〇〇〇。
〇 〇 病 院	士			
平成 年 月 日				
上記のとおり相違ありません。				
氏名 〇 〇 〇 〇 印				

外国籍である場合にのみ国名を記入。

平成30年4月1日現在の満年齢。

- ・大学若しくは高専又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴ならばこれらすべてについて記入。
- ・その他の者は、最終学歴について記入。
- ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目も併記すること。
- ・博士課程において所定の単位を取得し、博士の学位を授与されないまま退学した場合には「博士課程単位取得満期退学」と記入。

- ・職歴のすべてを記入し、職名、地位等についても明記。
- ・過去の大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む)の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名(大学院は判定結果(◎・合・可))を記入。
- ・在职期間が明確になるよう記入。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記。
- ・大学の教員歴については、主な担当科目を()で付記。
- ・無職、自営業、主婦、大学院進学準備等についても省略せず「職歴」欄に記入。
- ・担当科目に直接関係のある職歴についてはできるだけ具体的に記入。(例 看護学科の教員で看護師経歴のある者の当該看護師時の勤務病院等)
- ・作業療法士の実務経験が有る場合は、「作業療法士」としての勤務期間が明確になるように記入。「作業療法士」等としての勤務期間などと区別して記入する)

- ・本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入。
- ・所属学会名は正確に記入。

- ・教員以外の者の場合の職務の状況は、勤務先、職名の欄のみ記入し、「備考」欄に現在の職務内容を簡潔に記入。